



日本共産党 高知県議会 活動報告ニュース 果樹冷地室 823-9524 高知市丸の内1-2-20 2015. 2. 1
自 宅 872-9324 高知市 福町 1475-3 NO. 419

負担は非常に重い。構造的な問題があり、今以上に国費投入必要」と知事答

高すぎる国保料(税) 減額へのとりくみを

12月県議会(代表質問) 各地で問題になって、「国保料が高すぎて払えない」「財産の差しおさえが増えている」実態をとり上げて質問をしました。制度の発定時とは加入者の構成が大きく変化し、無職や非正規雇用の増大で、加入世帯の平均所得が、ピーク時の約7割から、今、約6割に半減しています。一方で、

高齢者の割合も増加し、医療費が増えた結果、保険料が昨年度時の一人あたり平均3万9千円から、2011年は2万9千円近くになっていることを示し、「負担は限界」「国費投入の抜本的強化が必要」とたたきました。

答弁にたった知事も、加入者の職業構成の変化によって「構造的な問題」があること、特に高知県は無職の割合がほぼ半数となり、一人あたり平均所得は、5万4千円、全国平均約4万円と比べても低いこと、医療水準が高いため一人当たりの所得にしろ介護保険料をのぞく国保料の負担割合は、全国平均の2.9%と比べても、高知は3.5%と非常に重くなっているとして、軽減のために、今以上の国費の投入が必要だと明言。

国に対して、ひき続き財政投入するよう要望していくことを約束しました。

政党助成法廃止法案を成立させ

税金の使い方をただし、国民本位の政治を。

26日から、連立国会が開会となり、ました。日本共産党は、昨年末の総選挙から議席にびった力を生かし、日本共産党だけでも議案を提出できる議案提案権をかくとくし、今国会に

政党助成法廃止法案の提出を行ないました。提出にあたり、すべの政策全般に対して、真剣な検討をよびかけています。血税を、正しく使う政務を、実現させたいですね。

てくてく歩記 (416) ちた(α)

お見せできなうかが残念ですが、先日「竹根印」をいただきました。竹根印をついた印は、とてもステキで、押す機会をどうするか思案中。50年近くほり続けた人の枝と心をかみします。そ方には、「七かふた父の育った家の防風林の役わりをして、椿の木をもらってほしい」と声をかけました。版画作家のαみなさんに入用ときでしたので。(生前、父が切符のいぬはかづりごととよく言っていました。)

た株を、3~5年かかると、みかじ...気の遠くなるような道なりに、芸術の世界のすせき、かい同みた気がしす。

(高すぎる国保料引き下げを求めざる者にも、ヒリッンびいます、どうぞご協力を。)